

佐々木 茂光

県議会の所属委員会・議連

- 議会選出 監査委員
- 議会運営委員会 副委員長
- 環境福祉常任委員会
- 東日本大震災津波復興特別委員会
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員会
- 水産振興議員懇談会 副会長
- 岩手県南・宮城県北議員連盟 幹事長
- 自由民主党岩手県連 副会長

皆さんの声をお聞かせ下さい

・県政に関するご意見・ご相談をお寄せ下さい。
 ・今回発行の「県政報告」や私の活動への御意見もお待ちしております。

佐々木茂光事務所

- 発行者 岩手県議会議員 佐々木 茂光
- 発行所 佐々木しげみつ事務所
- 発行責任者 佐々木 茂光

〒029-2203
 岩手県陸前高田市竹駒町字館56-1
TEL 0192-53-1771
FAX 0192-53-1770
 メール shigemitsu@sasa-shige.net

令和4年度も復興・創生に全力！！

ごあいさつ

向暑の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。
 高田松原の津波復興記念公園事業の完了が告げられました。これまでの復興事業を活かし、三陸沿岸道路全線開通と合わせ、活力ある地域実現に向け進んで参ります。

令和4年度 岩手県一般会計当初予算の概要

1 予算の規模

令和4年度当初予算額は、7,922億円。令和3年度と比べて182億円減少。
 東日本大震災津波への対応予算が190億円減少した一方、通常分の予算は新型コロナウイルス感染症対応分の計上などにより、8億円増加しました。

2 歳入予算の概要

国からの交付金や補助金などの「依存財源」は、地方交付税の減少などにより124億円の減、その結果、自主財源の割合は46%となり、県財政の5割以上が、国等からの「依存財源」となります。

3 歳出予算の概要

公共事業をはじめとする「投資的経費」は、災害復旧事業費が23億円増加したものの、普通建設事業費が79億円減少し、全体で57億円の減となりました。
 「その他の経費」は、コロナ関連や震災関連の貸付金が減少したため、全体で83億円の減となりました。

当初予算における復興推進に係る主な取組

【安全の確保】

災害に強い安全な多重防災型まちづくりの実現に向け、海岸保全施設の早期整備、防災知識の普及や自主防災組織の組織化・活性化を図ります。

【なりわいの再生】

地域のなりわいの再生と経済の回復に向け、主要魚種の不漁等の対策として行う新たな漁業・養殖業の導入、三陸沿岸道路を利活用し、観光振興などに取組みます。

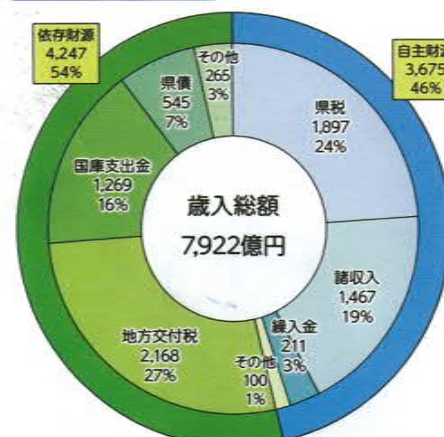
【暮らしの再建】

お互いに支え合い、安心して心豊かに暮らせる生活環境の実現に向け、被災者一人ひとりに寄り添った支援、復興教育の推進を図る。

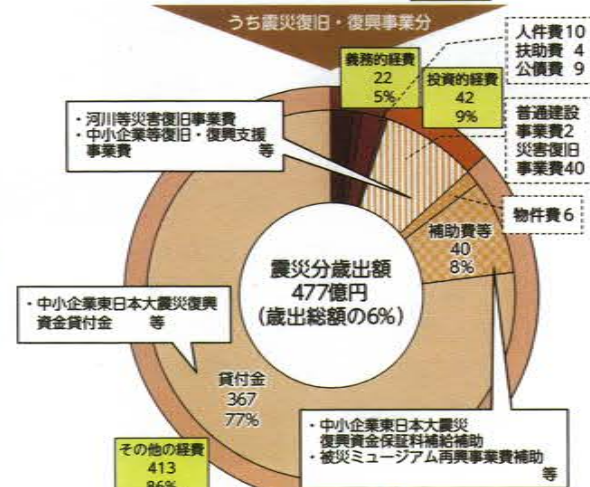
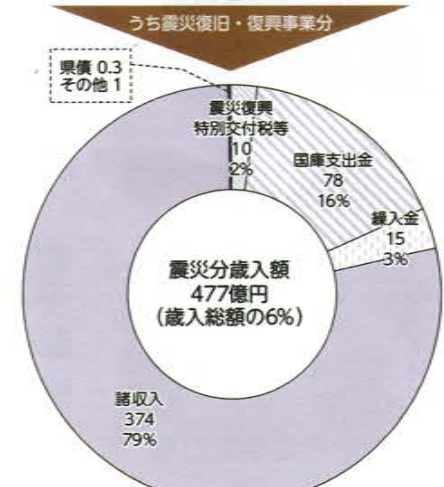
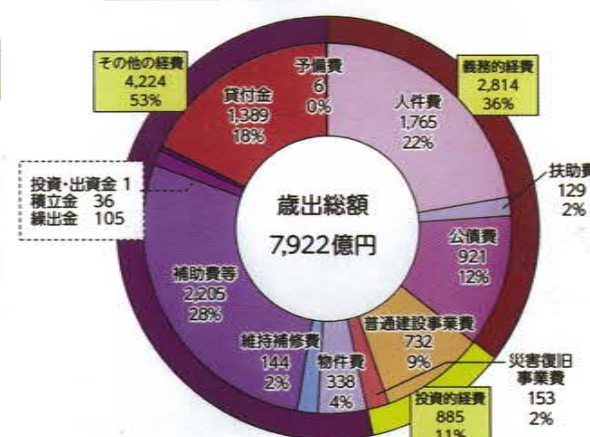
【未来のための伝承・発信】

震災の事実と教訓の伝承に力を入れ、復興の状況や復興支援に対する感謝の気持ちを伝えていきます。

歳入予算の状況 (単位: 億円)



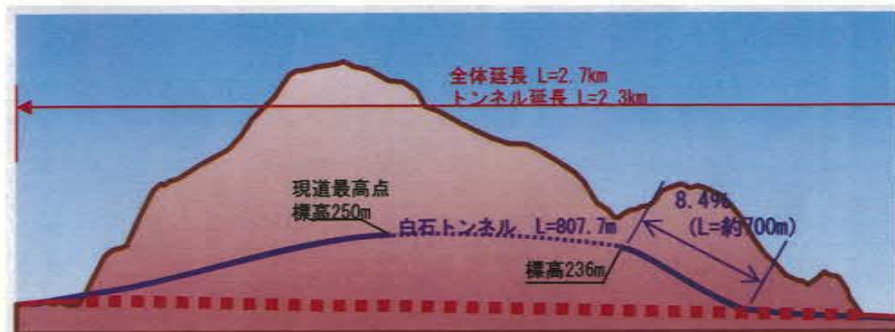
歳出予算の状況 (単位: 億円)



*表示単位未満四捨五入の関係で、内訳と合計額等が一致しない場合があります。

地域連携道路整備事業 一般国道107号 白石峠事業概要

約2.3kmの長大トンネル整備により急勾配、線形不良等の課題を解消し、災害時における緊急輸送道路としての機能強化、物流機能向上、緊急搬送の支援等において重要な役割を担う主要幹線道路を目指しています。



「県庁への道すがら」 徒然なるままに

人間には、「たいしたことはないだろう」「自分だけは大丈夫だ」と、自分に都合の悪い情報は無視する心理作用があるようだ。先の震災の時に学んだはずだ。

今も、新型コロナウイルス感染症が連日検出されている。「自分だけは…」と思っはいけない。

復興…、ウイルス…、ウクライナ侵攻…。今こそ政治の姿が問われている。

そう思いながらアクセルを踏む。

陸前高田オートキャンプ場モビリア 令和5年4月施設再開予定



甦る「大庄屋」 令和7年5月頃の公開予定



写活真動



R3.11 全国都道府県議会議長会自治功労者表彰伝達式



R4.5.14 鈴木大臣国政報告会



R4.2 トングガ沖火山噴火に伴う津波被害調査



R3.11 二之湯内閣府特命担当大臣来高



R3.11 知事要望



R4.5 鈴木大臣と各種業界団体との意見交換会